

JENESYS2016（派遣プログラム）

（派遣国：タイ / 大学生・大学院生 / テーマ：環境）の記録

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム JENESYS2016 の一環として、タイへ日本の大学生、大学院生および引率者の計 23 名が派遣され、日本の経済、産学、歴史、自然、文化に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指し、11 月 22 日から 11 月 30 日までの 8 泊 9 日の日程でプログラムを実施しました。タイの大学 2 校との交流では、日本文化（着物・浴衣・武道）についての紹介や、テーマでもある「環境」について、島根県とタイを比較しながら、自然災害や二酸化炭素排出量とその原因、水資源について等発表し、多くのタイ大学生の興味・関心を集めていました。また、JICA 事務所やホンダ工場見学では、国際社会で活躍したいと希望する学生達からの活発な質疑応答がなされ、将来について考える有意義な機会となりました。最終日の報告会では、環境問題解決に向けた取り組みと、今回の経験を生かしたアクションプラン（活動計画）を発表しました。

【参加校・人数】

島根大学 23 名

【訪問国】

タイ王国

2. 日程

- | | |
|-----------|---|
| 11月22日（火） | 【オリエンテーション】
成田空港より出発 バンコク着 |
| 11月23日（水） | 【視察】 バンコク市内視察
【表敬訪問】 在タイ日本国大使館
【表敬訪問】 社会開発人間保障省子ども青少年局
【訪問】 JICA タイ事務所 |
| 11月24日（木） | 【学校交流】 ① タイ商工会議所大学 |
| 11月25日（金） | 【学校交流】 ② チャンドラカセム・ラジャパット大学
【ホストファミリー対面式】 |
| 11月26日（土） | 【ホームステイ】 |
| 11月27日（日） | 【歴史的建造物】【伝統文化体験】 アユタヤ歴史公園視察 |
| 11月28日（月） | 【企業訪問】 Honda Automobile Thailand Co.,Ltd.
【ワークショップ】 |
| 11月29日（火） | 【報告会】
バンコク発 |
| 11月30日（水） | 成田空港到着 |

3. プログラム記録写真

	
<p>11/23 【表敬訪問】(在タイ日本国大使館)</p>	<p>11/23 【表敬訪問】(社会開発人間保障省子ども青少年局)</p>
<p>【Courtesy Call】 Embassy of Japan in Thailand</p>	<p>【Courtesy Call】 Department of Children and Youth, Ministry of Social Development and Human Security (DCY)</p>
	
<p>11/24 【学校交流①】(タイ商工会議所大学)</p>	<p>11/25 【学校交流②】(チャンドラカセム・ラジャパット大学)</p>
<p>【School Exchange Program】 University of the Thai Chamber of Commerce (UTCC)</p>	<p>【School Exchange Program】 Chandrakasem Rajabhat University (CRU)</p>
	
<p>11/28 【企業訪問】(Honda Automobile Thailand Co., Ltd)</p>	<p>11/29 【成果報告会】</p>
<p>【Visit】 Japanese-affiliated company "Honda Automobile Thailand Co., Ltd."</p>	<p>【Reporting Session】</p>

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 島根大学 大学生

印象に残ったのは「タイの日常生活のこと」について、例えば電車が時間通りに来ない、渋滞が頻発する、交通ルールを守らないといったマイナスなことではあるが、日本との違いを感じて面白かった。文化的な面ではやはり、国王に対する尊敬の念が強かったこと。いたるところに国王の写真が飾られ、大学に行けば黒い服を着た方が多く、日本の象徴天皇とは大きく異なり、タイの人たちの崇拜する心をととも感じた。今回感じたことを踏まえ、多角的な視野を持った人間になりたいと思った。タイに来る前もこのことは目標にしていたけれど、まだまだだという気持ちが強い。「どうしてこれが起こるのか」、「なぜタイの人たちはそう考えるのか」など、物事に深くアプローチできなかつたところもある。その反省も生かし、視点を多く持って追求していくことを日本に帰ってから深く追求したい。

◆ 島根大学 大学生

今回のタイ訪問では、日本とタイの教育の違いが印象に残りました。高校教員になるには、タイは日本でいう教育学部を出る必要があります、更に1年間教育実習に行くと聞き驚きました。また、生徒は日本の大学生に比べ、意思表示がはっきり出来ることも印象的でした。タイに来たことで、自分が普段持っている考えは固定観念が多いのかもしれないと感じました。というのも、国民性も生活水準も環境も、タイに来る前に思っていたイメージと大きく異なっていたからです。実際に自分が体験しないとわからないことは多くあります。これからの人生で自分から多く行動し、体験することを大切にしていきたいです。そして、タイの魅力はもちろん、今回の経験をまずは身近な友達に伝えることから行って行きたいと思います。

◆ 島根大学 大学生

今回のタイ派遣プログラムを経て、始めに考えたことは、日本とタイ王国の違いであった。同じアジア人として親近感と期待を抱いてバンコクに降り立つと、暑さに驚かされた。次に印象に残ったのは、交通量に見合わない道路規模、乱暴な運転等、公共交通の粗悪さだった。一方で、タイ国民はお坊さんへの托鉢を積極的に行う等敬虔な仏教徒であり、宗教に関して大雑把な日本とは異なっていることを体験することが出来た。

ホームステイや大学との交流、企業への訪問を経て得ることの出来た知識を以って、タイ王国を知り、日本を見直すことが出来たと考えている。今回の体験はあくまでも交流のスタートであり、これから交流を加速させることで、日本の魅力を再発見し、タイ王国との様々な交流における中心となって、日本とタイ王国のかけ橋となることが私の理想だ。

5. 受入れ側の感想

◆ タイ商工会議所大学 大学生

日本人大学生のプレゼンテーションと出し物に感動した。というのも日常生活に影響を及ぼす環境に関して興味深い項目が選択されていたからである。タイと日本の比較をしていたため、より理解が深まった。また、公害物質を低減する方法についての提案はタイが発展していく上で大変有益である。

◆ タイ商工会議所大学 大学生

大変感動した。何故なら、日本人大学生のプレゼンテーションによって私達の身近な話題である公害・環境の重要性を垣間見ると共に、問題の対処方針のヒントとなったからである。また、服装・スポーツの双方に関して、日本文化を理解する機会となった。

◆ タイ商工会議所大学 大学生

タイ人大学生・日本人大学生双方の新たな友人を得た。浴衣や着物などの伝統衣装や剣道等の日本文化について学ぶと共に、日本語についても知ることが出来た。今回のプログラムに参加して、より一層日本に行ってみたいと思うようになった。

◆ チャンドラカセム・ラジャパット大学 大学生

日本人大学生が私達に、日本人の生活・学術的な知識・最新技術について教えてくれた。また、プレゼンテーションの際、英語が上手でわかりやすく、写真も美しくて時間的にもちょうど良かった。パフォーマンスも楽しく、タイでなかなか見ることの出来ない大変興味深いものだった。

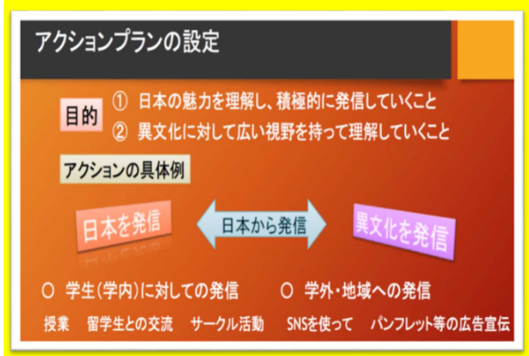

◆ チャンドラカセム・ラジャパット大学 大学生

プレゼンテーション時の衣装（浴衣）がとても良かった。繊細でいろいろな柄があって惹きつけられた。プレゼンテーションを聞いて日本の様々な面について更に知りたくなった。パフォーマンスによって、着物を始めとする日本の美しい文化を垣間見ることが出来た。

6. 参加者の対外発信

 <p>浅尾 健介さんが写真15件を追加しました — 辻 沙佑美さんと一緒にです。 11月24日 2:06</p> <p>I'm in Thailand 🇹🇭🇯🇵 for JENESYS2016. It's my first trip to Thailand. Everything is interesting for me. Today, I went to the Japanese Embassy, DCY, and JICE. These experiences are so precious. I will meet university students in Thailand tomorrow. I'm looking forward to it.</p> <p>翻訳を見る</p> 	 <p>辻 沙佑美さんが写真2件を追加しました。 11月25日 0:57</p> <p>Yesterday I went to some facilities. Through the visits, I noticed that the relationship between Japan and Thailand is so important. Since we are helping each other to solve some issues. I have some goals for this program, JENESYS. One of them is to solve environmental issues in cooperation with people in Thailand. I made sure that I'll be able to do that if we have will.</p> <p>翻訳を見る</p> 
<p>11/24 初のタイ訪問で貴重な体験を積む 在タイ日本国大使館、DCY、JICA を訪問。これからの学校訪問に期待している。</p>	<p>11/25 環境問題解決に向けて 視察をとおして日泰関係の重要性を理解した。</p>
<p>Having a valuable experiences on my first visit to Thailand. Looking forward to holding exchange meeting with local student. Posted on Facebook.</p>	<p>To solve the environmental issue we understood the importance of the relationship between Thailand and Japan through this visit. Posted on Facebook.</p>

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

 <p>アクションプランの設定</p> <p>目的</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 日本の魅力を理解し、積極的に発信していくこと ② 異文化に対して広い視野を持って理解していくこと <p>アクションの具体例</p> <p>日本を発信 ← 日本から発信 → 異文化を発信</p> <p>○ 学生(学内)に対しての発信 ○ 学外・地域への発信</p> <p>授業 留学生との交流 サークル活動 SNSを使って パンフレット等の広告宣伝</p>	<p>まとめ/Conclusion</p> <p>3つのグループの提言 / Recommendation from three groups</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 文化グループ / Culture group ② 水グループ / Water group ③ 生活グループ / Life group 
<p>大学の帰国報告会、留学生交流会、サークル活動などで発表。</p>	<p>環境というテーマから、文化、水、生活の3つの視点から両国を比較。気づきを個人レベルで SNS にて発信。</p>
<p>【Action Plan 1】 To disseminate their awareness the delegates are planning to have reporting session, exchange with foreign students and club activities.</p>	<p>【Action Plan 2】 Compare Thailand's and Japanese environmental situations through three visions such as culture, water and ;lifestyle. Then post on SNS.</p>